

한통련 뉴스레터

제79호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●韓国総選挙、尹政権を厳しく審判…院内外を貫く反尹戦線で尹政権の早期退陣を！



出口調査の結果に喜ぶ「共に民主党」幹部ら

韓国総選挙、野党圧勝・与党惨敗

地域区254と比例区46の計300議席を争い4月10日に実施された第22代国会議員総選挙。第一野党「共に民主党」が4年前の総選挙に続いて圧勝を収め、与党「国民の力」は前回に続いて惨敗。主権者である国民は尹錫悦(ユン・ソンヨル)政権(政府・与党「国民の力」)を厳しく審判した。

地域区では、共に民主党161、国民の力90、進歩党1、「新しい未来」1、革新党1議席を占めた。比例区では共に民主党・進歩党・新進歩連合と市民社会団体「連合政治市民会議」による選挙連合政党「共に民主連合」14、国民の力の系列政党「国民の未来」18、祖国革新党12、革新党2議席を獲得した。

共に民主党と共に民主連合で175(改選前156)、進歩党(地域区)と祖国革新党を加えた野党陣営で190議席に迫る。国民の力と国民の未来で108(同1

14)、国民の力は改憲・弾劾阻止ラインの101議席はこえた。

進歩党は共に民主連合からの2議席に加えて野党一本化を実現した蔚山北区で当選者を出し、選挙前は1議席だったが3人の国会議員を擁することになった。また総選挙と同時に実施された再補欠選挙で釜山市議と済州特別自治道議に各1人当選した。正義党と「緑の党」による選挙連合政党「緑の正義党」は当選者を出せず院外政党に転落した。同党重鎮の沈相奵(シム・サンジョン)氏は落選し政界引退を表明した。第3地帯を標榜した「新しい未来」と革新党。新しい未来は地域区で1人当選し李洛淵(イ・ナギョン)代表は落選した。革新党は地域区で李俊錫(イ・ジュンソク)代表が辛勝し比例区は2議席を確保した。比例区で候補をたてた祖国革新党は地域区は共に民主党への投票を呼び掛けた。曹国(チョ・グク)代表は当選し国会議員となった。

最終投票率は67.0%で、前回総選挙(66.2%)より0.8ポイント高く、1992年の総選挙(71.9%)に次ぐ高さとなった。

「国民の力」韓委員長、辞任…尹大統領「国政刷新」

共に民主党の李在明(イ・ジェミョン)代表は11日、総選挙での圧勝について「党への支持と声援に心から感謝申し上げる」としながら、「党の勝利でなく、わが

国民の偉大な勝利」とたたえた。

一方、国民の力の韓東勳（ハン・ドンフン）非常対策委員長は同日、総選挙で惨敗した責任を取って辞任すると表明した。執行部不在の与党で「親尹」対「反尹」の権力争いが本格化するのには避けられない見通し。尹大統領は選挙結果を受けて「総選挙での国民の意思を謙虚に受け止め国政を刷新し、経済と国民の生活安定に向け最善を尽くす」と述べた。韓惠洙（ハン・ドクス）首相は尹大統領に口頭で辞意を伝え、国家安保室を除く首席秘書官級以上の大統領室高官も全員辞意を表明した。

噴出した尹政権審判の民意

無能と無責任、独断と専横、反民生・反民主・反平和、対米追従・対日屈従・対北対決で一貫する尹政権に対し国民は総選挙を通じて厳しく審判した。尹政権の失政・悪政は枚挙にいとまがないが、投票日が迫る中で飛び出した尹大統領の「長ねぎ一束 875ウォン（約98円）騒動」（尹大統領がスーパーマーケットを視察した際に、長ねぎの値段を合理的な価格だと述べ、民生破綻の実情を知らないことが露呈した）と、紆余曲折を重ねた前国防長官の李鐘燮（イ・ジョンソプ）駐豪大使の件（海兵隊兵士殉職事件に関連した捜査を避けるため、尹大統領が李氏を駐豪大使に任命し赴任させた）は国民の怒りに対し火に油を注ぐ結果となった。

尹政権審判の民意は日毎にうねりを増しながら、劣勢の中で韓委員長は、李在明代表と曹国代表を裁判中の犯罪者と規定し攻撃する「李曹審判論」を振りかざしたが、これでは有権者の呼応を得るのも難しく、攻勢へと転じることはできなかった。野党、特に進歩政党に対する「運動圏審判」（従北攻撃やアカ攻撃）も党内から選挙への悪影響を憂慮して自重を求める声があがるほどで、保守政党の手垢にまみれた常套手段であることを自認する結果となった。

政権審判の民意は尹政権の長官・次官出身候補を直撃した。選挙戦に身を投じた朴振（パク・ジン）外交部長官をはじめ国家報勳部、産業通商部、国土交通部の各長

官、国防部次官らが次々と落選した。一部の候補を除けばすべて支持基盤の強固な嶺南圏（慶尚南北道）で出馬した候補だけが生き延びた。大統領室出身候補らも怒りの民意を避けることはできなかった。政務第1秘書官、政策調整企画官、人事秘書官、自治行政秘書官を務めた候補らが苦杯をなめた。こちらも一部を除いて当選者はほとんど嶺南圏から出ただけだ。

野党の圧勝は尹政権に対する怒りの民意が政権審判として全面的に噴出した結果である。政権審判論が最も強かったのはやはり首都圏だった。共に民主党はソウル48カ所中37カ所、京畿60カ所中53カ所、仁川14カ所中12カ所を獲得、実に首都圏全体122議席中102議席という圧倒的な成績を残した。

また、共に民主連合の結党を背景に共に民主党と進歩党の候補一本化がスムーズに進行され、政権審判論にさらに力を与えた。祖国革新党の出現と曹国代表の鮮明な「尹政権審判」攻勢は、共に民主党と進歩政党への一定の不満も吸収しながら、政権審判の民意を集めることに成功し、新党ながら一挙に12人の国会議員を擁する第3政党の出現となった。

尹政権退陣闘争を力強く推進しよう

選挙を通じて尹政権審判の民意は明確となった。問題は尹大統領がこれからどのような国政基調で国政運営をするかだ。選挙結果を受けた言葉だけの反省や決意だけでは国民は容赦しないだろう。しかし、医学部定員増問題でよく示されたように、この間の尹大統領の独断と固執から判断すると、国政基調が全面的に変更される可能性はほとんどないと見てよい。

それゆえに、総選挙で明らかになった政権審判の民意を政権の早期退陣へと発展させていくことが必要だ。政権審判の民意を土台に、進歩民衆勢力が軸となる政権退陣闘争を院内外を貫く幅広い戦線で力強く推進しながら、汎国民的退陣闘争へと拡大発展させていくことが、政治的、組織的にさらに重要な課題となるだろう。

활동보고 活動報告

●大阪で「2024韓国総選挙を考える集い」開催…在外投票よびかけ



金昌五副代表委員の報告を熱心に聞く参加者たち

4月10日に実施される韓国国会議員選挙を控え3月24日、大阪市内で「2024韓国総選挙を考える集い」を開催した。

金隆司（キム・ユンサ）代表委員が主催者あいさつ。「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権になって韓国の歴史は後退し、南北関係は緊張状態が続いています。このような尹政権を退陣させなければなりません。そのために今回の総選挙では進歩・民主陣営の勝利が必要です。今日の講演を通じ総選挙情勢と展望について、皆さんと共に認識を共有したいと思います」と語った。

金昌五（キム・チャンオ）副代表委員が講演。金副代表委員は「今回の総選挙では尹政権を審判しなければならない。そのためには野党候補と与党候補の『1対1の構図』を作らなければならない」とし、「『共に民主党』・進歩党・新進歩連合の3党と市民社会団体による比例政党『共に民主連合』の結成は大きく期待できる」と述べるとともに、「曹国（チョ・グク）元法務部長官が結成した祖国革新党は『尹錫悦検察独裁を終わらせる』をスローガンに掲げ、各地で旋風を巻き起こしている」と語った。

そして「総選挙で反尹錫悦陣営の目標は200議席。この議席数を獲得できれば尹政権の弾劾が可能になる」と述べながら、「進歩・民主勢力は団結して尹錫悦政権に審判を下そう」と訴えた。

質疑応答後、参加者を対象に実施した模擬投票の結果を発表。崔誠一（チェ・ソンイル）事務局長が在外選挙人投票案内と今後の行事紹介を行い、金昌範（キム・チャンボム）副代表委員が閉会あいさつした。

●韓青が都内で「在日コリアン青年平和統一全国アクション」開催



声明文を読み上げる韓成祐委員長

在日韓国青年同盟（韓青）は3月24日、都内で街頭情宣活動「在日コリアン青年平和統一全国アクション」を開催。全国

から青年が結集し、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の退陣と朝鮮半島の自主的平和統一を訴えた。

韓成祐（ハン・ソンウ）中央本部委員長が主催者あいさつ。「南北関係が戦争直前の状況に陥ったのは、朝鮮に対する敵視と韓米日による合同軍事演習を繰り返してきた尹錫悦政権に大きな責任がある。朝鮮半島の自主的平和統一のために、私たちは在日コリアン青年の立場から尹錫悦政権の退陣を訴える」と語った。参加者がそれぞれアピールし、有志によるサムルノリ演奏、大阪本部の朴権洙（パク・クンス）常任委員によるノレ（歌）が披露された。

韓委員長が声明文を朗読。「現在の朝鮮

半島は全面戦争の危険性と常に隣り合わせにある状況」とし、「南北が危機的な状況にある今こそ、私たちは韓米合同軍事演習中止・韓米日軍事同反対・尹錫悦政権退陣をより力強く訴える」と声を高めた。

参加者は「尹錫悦政権は無謀な戦争挑発を中止しろ！」「駐韓米軍は全軍撤退しろ！」「同族対決へと進む尹錫悦政権は退陣しろ！」と力強くシュプレヒコールをあげた。

●「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会」が月例行動



アピールする李俊一事務長

「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会（支援する会）」は3月25日に、都内で月例行動を展開した。日東電工の100%子会社である「韓国オプティカルハイテック」（亀尾市）では、2022年10月の工場棟火災を口実に工場の廃業・解雇が行われ、現在、11人の組合員

が代替生産中の「日東オプティカル」（平澤市）への雇用継承を求めている。

品川駅前で行った宣伝活動。全労協傘下の労働組合がアピールする中、韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長が連帯あいさつした。李事務長は日東電工の廃業・解雇について「廃業決定において労働組合と事前に協議せず、メール一本で一方向的に労働者に通知してきた。非常識なとんでもない措置であり言語道断だ」と批判。「日本でも韓国でも、労働運動に対する弾圧は深刻だ。民衆の生きる権利を守るため、連帯して闘っていこう」と訴えた。

宣伝活動後、日東電工東京本社に申し入れ。李事務長も同行した。会社側は面談も要請文の受け取りも拒否するという強硬姿勢に終始し、支援する会は要請文の朗読を通じて雇用継承を強く求めた。

●「強制動員問題解決と過去清算のための共同行動」が院内集会を開催



アピールする李杲暉（イ・ゴウン）さん

「強制動員問題解決と過去清算のための共同行動」は3月25日、都内で院内集会「強制動員問題の解決を！ 韓国原告家族・遺族の声を聞くつどい」を開催。韓国から被害者家族・遺族4名が参加した。遺家族は集会前に関連企業に面会を求めた

が、すべて拒否された。

遺家族が報告。日本製鉄訴訟原告である李杲暉（イ・ゴウン）さんの長女・李杲暉（イ・ゴウン）さんは「父は現在103歳で、これまで大変苦勞してきた。父は『韓国政府の第3者弁済は絶対に受け取らない、日本製鉄の謝罪と賠償こそ必要だ』と語っており、私はそんな父を支えていきたい」と強調。面会を拒否した日本製鉄に対して「大変ひきょうなふるまいだ。自分が正しいと思うのなら堂々と遺家族に会うべきだ」と怒りをあらわにした。

林幸成（イム・ジェソン）弁護士が韓国における強制動員訴訟の現状について報告。林弁護士は「加害企業の責任を問う大法院（最高裁）判決が2018年に出された。被告企業および日本政府はこれに反発し、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は昨

年、韓国側が設立した支援財団が賠償金を補填するという『解決策』を示し事態の收拾を図った。しかし被害者4人が弁済受け取りを拒否し、弁済を判断する各地裁も弁済を許可しないと決定したことにより、尹政権の『解決策』はほぼ実行不可能となった」と解説。「大法院が昨年12月から今年1月までに大法院で継続中だった三菱重工、日本製鉄、不二越、日立造船の各件に対して、すべて被告企業の上告を棄却し

た。これは2018年の大法院判決の姿勢を司法が堅持したものとして評価できる」と語り、「加害企業は判決を受け入れ、強制動員問題解決に乗り出すべきだ」と強調した。

企業要請の結果報告、質疑応答後、司会が「加害企業が判決に従うのは当たり前のことだ。今日の集会を新しい出発点として、強制動員問題解決に向けて闘っていこう」と閉会あいさつした。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画を韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ

행사예정 行事予定

4月

情勢学習会(神奈川)

日時: 4月21日(日) 午後2時開始 場所: ふれあい貸し会議室 内容: 情勢講演(講師: 李俊一(イ・チュニル)事務長) 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261(文)

「連帯の夕べ」(大阪)

日時: 4月21日(日) 午後4時受付、4時30分開会 場所: KCC会館 内容: 第1部 記念講演(講師: 宋世一(ソン・セイル)委員長) 第2部 懇親会 参加費: 4000円 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723(崔)

第27回統一マダン神戸イベント

日時: 4月27日(土) 午後6時30分開場、7時開始 場所: 兵庫区文化センター 内容: 韓国総選挙と朝鮮半島の「戦争と平和」(講師: 宋世一(ソン・セイル)委員長) 参加費: 1000円 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-5016-6352(崔)

5月

第27回統一マダン神戸

日時: 5月19日(日) 午前11時~午後3時 場所: キャナルタウン広場(JR兵庫駅南側) 内容: ステージ(川口真由美、神戸中華同文学学校舞獅隊、神戸朝鮮高級学校など)、屋台、ワンコリアクイズ 参加費: 無料 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-5016-6352(崔)

編集後記

韓国総選挙、野党の圧勝となりました。選挙当日は仲間と一緒に選挙放送を見守っていましたが、出口調査の結果が出た瞬間、祝杯をあげました。選挙は良い結果で終わりましたが、大切なのはこれからです。尹政権退陣にむけて頑張っていきましょう(李)